

第5回『原子カフォーラム茨城』

GX(グリーントランスフォーメーション)  
実現に向けて

—エネルギー安全保障と原子力の人材育成—

日時:2023年7月22日(土)

場所:水戸三の丸ホテル

主催:原子力国民会議茨城支部

協賛:愛功建設(株)、(株)アセンド、(株)アトックス、(株)E&Eテクノサービス、エイ・ティ・エス(株)、(株)大曾根建設  
(株)大貫工務店、株木建設(株)、検査開発(株)、原子力エンジニアリング(株)、(株)原子力セキュリティサービス  
(株)大輝建設、大昭工業(株)、泰明電設(株)、(株)田口工務店、(株)千代田テクノル、千代田メンテナンス(株)  
東興機械工業(株)、(株)ナスカ、(株)NESI、(株)ベスコ

# Program

—プログラム—

司 会 播 摩 奈津子 原子力国民会議事務局長

15:00 開 会

主催者挨拶 飯 島 一 敬 茨城支部代表

田 山 東 湖 特別顧問

来賓挨拶 石 川 昭 政 衆議院議員

上 月 良 祐 参議院議員

加 藤 明 良 参議院議員

来賓紹介 県議会議員、市町村議長

15:20 基調講演 額 賀 福志郎 氏

衆議院議員、自民党総合エネルギー戦略調査部会長

演 題 GX (グリーントランスフォーメーション) の展望と原子力の課題等について

15:50 基調講演 阿 比 留 瑠 比 氏

産経新聞論説委員兼政治部編集委員

演 題 今後の政局とエネルギー安全保障について

16:35 パネルディスカッション

コーディネーター (司会) 檜 山 敏 明

元九州大学教授・原子力国民会議理事・茨城支部副代表

パネラー 額 賀 福志郎 氏

阿 比 留 瑠 比 氏

下 路 健次郎 いばらき自民県議会議員 (東海村選挙区)

飯 田 英 樹 茨城県町村議会議長会会長・大洗町議会議長

萩 谷 弘 通 原子力施設運転保守会社経営者

大 津 乃 重 原子力技術者

17:20 閉 会

## 主催者挨拶



(一社)原子力国民会議 茨城支部代表  
**飯島 一 敬**

我が国の原子力基本法が昭和30年に制定され、原子力の研究と開発がこの茨城から始まり、全盛期には国内で54基の原子力発電所が稼働し、国内経済を支える大きな役割を担ってきました。平成23年3月の東京電力福島第1原子力発電所事故後12年間原子力の冬の時代が続き、現在稼働中の原発は10基であり、国内経済だけではなく、原子力に関わる技術の継承と人材の確保も計り知れない打撃を受けました。

岸田総理が議長のGX(グリーントランスフォーメーション)実行会議が昨年8月、今後の原子力政策として「再稼働への総力結集」、「既設炉の最大限活用」、「次世代革新炉の開発・建設」、「バックエンドプロセス加速化」、「サプライチェーンの維持・強化」等を議論し、これらの課題解決にはいずれも「人材の確保」と国民の「理解の確保」が重要であると指摘しました。

福島事故後の平成26年4月25日、『原子力を国民の手に取り戻す』という理念を掲げた一般社団法人原子力国民会議が設立され、「新しい原子力を創る」という趣旨に賛同し、令和元年6月2日に茨城支部が設立されました。これまで田山東湖初代支部代表のもとに『いまこそ、発祥の地茨城から原子力の再興を!』を旗印に掲げ、原子力の理解活動として草の根勉強会「サイエンスカフェ茨城」、原子力施設見学会、国会議員と地域代表者との意見交換会等の「原子力フォーラム茨城」を実施し、ここに設立5周年を迎えました。

茨城県内には、国の原子力研究開発機関、東京大学・東北大学・茨城大学の研究施設、日本原電の東海第二発電所を中核として原子力施設が多数立地し、半世紀以上の長期間に亘って原子力の研究開発を担い、地域の方々と共存共栄してきた誇るべき実績があります。今後、これらの機関や諸施設との連携を図り、長期的な視点から「人材の確保」や地域住民の原子力に対する「理解の確保」をはじめとするGX実現に向けた支援活動に取り組んでまいります。

本フォーラムでは、『GX 実現に向けて—エネルギー安全保障と原子力の人材育成—』の基調講演とパネルディスカッションを通して地域住民、地域を代表する議員、行政を担う方々及び報道機関の皆様と情報を共有し、課題の解決に努め、原子力の恩恵を再び享受できる地域社会を目指す所存です。今後とも皆様のご支援、ご協力を賜りたく、お願い申し上げます。



(一社)原子力国民会議 茨城支部特別顧問  
茨城県議会議員 田山 東湖

本日、原子力国民会議茨城支部設立記念事業として、GX(グリーントランスフォーメーション)実現に向けて、エネルギー安全保障と原子力の人材育成をテーマに第5回「原子力フォーラム」を開催いたしましたところ、多くの皆様にご参加を頂きありがとうございます。

また、今回の開催に当たり、協賛を頂きました各企業の皆様にも感謝を申し上げます。

今回は、政府与党のエネルギー問題の取り纏め役でもある衆議院議員自民党総合エネルギー戦略調査部会長額賀福志郎先生、取材側の立場から長年総理官邸キャップを務めてこられた、産経新聞論説委員兼政治部編集委員阿比留瑠比氏をお招きして基調講演、そしてパネルディスカッションを企画いたしました。

平成23年3月11日の東京電力福島第1原子力発電所の事故以降、原子力発電に対する世論の動向は相当なものでした。温暖化による異常気象、環境破壊を背景に先進国が原子力発電を進めている中、我が国だけが取り残されるわけにはいかない、実績のある、安定した電力供給可能な原子力発電を一步でも前に進めたいとの思いから「いまこそ、発祥の地茨城から原子力の再興を！」を旗印に令和元年6月2日に仲間とともに茨城支部を立ち上げて活動してまいりました。

我が国においても、昨年8月24日に岸田総理が、国の化石燃料を中心とした経済社会システム全体を変革するためのGX実行会議において、原子力の課題などについて前面に立って対応するとの発言があり、加えて原子力発電所の新增設、次世代原子炉の開発が示されました。その成果の一つとして、先の通常国会において原子力発電所の運転期間を60年超も可能とする法案が可決成立しました。

まだまだ道半ばではありますが、茨城支部設立5年を一つの区切りとして、6月開催の定時常任幹事会において、設立時から活動を共にしてきた飯島副代表に次のステージのかじ取りをお願い致しました。私は、引き続き特別顧問として、茨城県議会議員の立場から、エネルギー安全保障の基幹エネルギーである原子力について取り組んでまいります。

この間の、皆様方のご支援、ご協力に対し感謝を申し上げ、ご挨拶といたします。





### 衆議院議員 石川 昭政

原子力国民会議茨城支部設立5周年を祝い第5回原子力フォーラム茨城のご開催誠におめでとうございます。

原子力国民会議の皆様におかれましては、「原子力を国民の手に取り戻す」という理念の下、2011年の福島第一原子力発電所の事故によって失墜した原子力に対する国民の信頼を取り戻すべく草の根活動を実践いただいておりますことに心より敬意と感謝を申し上げます。

昨年8月のGX実行会議における議論に基づき、岸田総理は既存の原発を最大限に活用するという考えを示し、運転期間の延長についても検討の指示が出されました。

ご案内の通り今国会において提出・成立いたしましたGX脱炭素電源法は、安全審査や裁判所の命令など事業者が予想できない理由による停止期間を除くことが盛り込まれるとともに原則40年の運転規定を、運転開始から30年を超える場合に10年以内に規制委員会が認可を繰り返し、事実上、60年超の運転が可能とすることができました。原子力規制委員会が安全審査する体制に変わりはありませんが、原発を活用した電力の安定供給や脱炭素社会の実現を「国の責務」とし、運転期間についての規定を原子炉等規制法から削除するとともに、経産省が所管する電気事業法に移し、経産省が脱炭素と電力の安定供給に資すると判断した場合に延長する仕組みとなりました。

私は、第3回原子力フォーラムの講演において問題提起したことが、皆様と共に課題解決に向けて実を結ぶことができましたことに心より感謝申し上げる次第です。

引き続き、衆議院原子力問題調査特別委員会理事として、また、党原子力規制に関する特別委員会委員長代理として、エネルギー自給率の向上、原子力政策のさらなる発展に向けて取り組んで参ります。

結びに、本フォーラムの成功と本日ご参集の皆様方のご健勝とご多幸を祈念申し上げ、ごあいさつとさせていただきます。



### 参議院議員 加藤 明良

第5回原子力フォーラム茨城のご開催心よりお慶び申し上げます。一般社団法人原子力国民会議茨城支部の飯島一敬代表はじめ、田山東湖特別顧問、関係各位にはいつもご指導ご鞭撻を頂戴しておりますこと感謝申し上げます。また、本フォーラム開催にあたりご尽力頂いた皆様方には感謝と敬意を申し上げます。昨夏の参議院選挙におきましても関係各位には大変お世話になり、国政へと押し上げて頂きましたことに改めて感謝申し上げます。

さて、昨今の私たちを取り巻く世界情勢は、ロシアのウクライナ侵攻等に起因した燃油物資の高騰等、日本のエネルギー安全保障に関する課題が露呈している状況にあり、私たちの日常生活に甚大な影響を及ぼしていると言えます。

茨城県では東海村への原子力研究施設誘致以来、原子力の平和利用の進展と共に原子力関連施設が近隣進出し、茨城県の発展にも繋がってきました。その一方で東日本大震災発災によって、東海第二原子力発電所が発電休止を余儀なくされておりますが、新たな規制基準が設けられるなど、多くの安全・防災対策が強化されてきました。

私も県民の皆様の声を国政へと反映させられる様に努めて参る所存でございますし、何よりも茨城県の発展につながる仕事を 国政の立場でして参りたいと考えております。

今後も一般社団法人原子力国民会議茨城支部の皆様方におかれましては、原子力利用の推進と共に、県民が安心して暮らせる社会の実現のためにご尽力頂きますことをご期待申し上げますと共に、本日までご参集の皆様方のご健勝ご多幸をお祈り申し上げまして、本フォーラムに寄せる祝辞とさせていただきます。



### 水戸市長 高橋 靖

一般社団法人原子力国民会議茨城支部が設立5周年の記念すべき節目を迎えられましたこと、お慶び申し上げます。また、GX実現に向けてと題して「第5回原子力フォーラム茨城」が、ここ水戸市で開催されますことに感謝申し上げます。

今、多くの市民の皆様は、2021年から始まるエネルギー価格の高騰、そしてそれに伴う物価高が大きな負担となっていることに加え、今後のエネルギー価格が未だ不透明である状況に、不安を抱えながら生活を送っております。

このような状況に対し、国、県、私ども地方自治体は、一体となって経済的支援をはじめとする各種対策を講じておりますが、根本的な解決を図るためには、日本が抱えるエネルギー問題に国を挙げて取り組んでいくことが重要であると考えております。

この日本のエネルギー問題は「安全性」をはじめ、「安定供給」「経済性」「安全保障」など、多様な視点から考えていくことが重要であるとともに、「世界的な要請でもあるGXの実現」に向けた課題とも複合的、総合的に議論していく必要があります。

そして、私は、このような多角的に捉えるべき課題であるからこそ、一人ひとりが「自分ごととしてエネルギー問題を考えること」が重要だと認識しており、特に、東海第二発電所から半径30km圏に位置する水戸市の首長としましては、一層「市民の皆様にエネルギー問題を考えていただく機会の創出」に努めていく必要があると思料しているところでございます。

「第5回原子力フォーラム茨城」は、その機運を高めていただける大変有意義な取組であり、本市におきましても、この度のフォーラム開催を契機に、市民に対するGXやエネルギー問題の理解促進に一層取り組んでまいりますので、引き続き皆様方の御支援を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、原子力国民会議茨城支部のますますの御発展、並びに原子力フォーラム茨城の御盛会を心から祈念いたしまして、挨拶とさせていただきます。



## 大洗町長 國井 豊

第5回原子力フォーラム茨城の開催にあたり、原子力国民会議茨城支部設立5周年をお祝い申し上げますとともに関係者の皆様のご尽力に対し心より敬意を表します。

原子力は、長期的なエネルギー需要構造の安定性に寄与する重要なベースロード電源であり、2050年のカーボンニュートラル実現に向けた確立した脱炭素技術であることは揺るぎないものでありますが、東日本大震災以降、趨勢は向かい風の状況にあり、原子力の研究開発が停滞するなど、憂慮される状況が続きました。

こうした中、令和5年2月に「GX実現に向けた基本方針」が閣議決定され、安全性の確保を大前提に「次世代革新炉の開発・建設」などの原子力政策が示されたことは、長期的な視点はもちろんのこと、昨今の異常気象等によるエネルギー需要量の増加や、発電施設の老朽化等に伴うエネルギー供給量の不足、さらには、石油価格等の上昇に伴う電気料金の高騰など、喫緊の課題の解決に向けても大変意義深いものです。

今後、令和3年7月に再稼働した「HTTR」を活用した水素製造技術の研究開発に加え、令和7年3月の再稼働を目指すとされている「常陽」を活用した医療用アイソトープの国産化など様々な研究開発に期待が高まっております。

また、廃炉が決定された「JMTR」の後継炉につきましては、原子力国民会議茨城県支部のご提言を受け、令和4年9月に文部科学大臣に対し新照射試験炉の早期実現を要請したところです。

これからは、廃炉も含めた原子力の基礎基盤を引き続き高い水準で維持していくことが極めて重要であります。今後とも原子力研究開発の支援を通して、国の原子力政策に貢献しながら、科学技術とそれを支える有為な人材が集積するまちづくりを進めていく所存です。

結びに原子力国民会議茨城支部のご発展と本日ご参加の皆様方のご健勝、ご活躍を心より祈念申し上げます、ごあいさつといたします。



## 祝 辞



### 那珂市長 先崎 光

この度、原子力国民会議茨城支部が設立5周年を迎えられましたこと、心からお祝い申し上げます。また、貴支部における国内のエネルギー問題や環境問題への精力的な取り組みに、深く敬意を表します。

さて、私たちの生活や社会・経済活動を守るためには、エネルギーが安定的に、安価に供給されることが欠かせません。将来にわたって安定供給を確保するためには、緊急避難的な緩和措置に頼るだけでなく、エネルギー危機に耐えるエネルギー需給構造に根本的に変えていく必要があります。これは、脱炭素に向かう上でも世界の潮流となっています。

しかしながら、現在も続くロシアによるウクライナ侵略により、世界のエネルギー情勢は一変しました。それ以前から続くコロナ禍などさまざまな影響もあって、世界各国でエネルギーのインフレーションが起きており、日本でも電力需給ひっ迫やエネルギー価格の高騰が生じています。日本はエネルギー資源にとぼしい国であることから、安定供給の確保の重要性が改めて認識されました。

このような状況のなか、5月にGX推進法が成立し、これまでの石炭や石油などの化石エネルギー中心の産業・社会構造から、CO<sub>2</sub>を排出しないクリーンエネルギー中心に転換することが示されました。「2050年カーボンニュートラル」という国際公約を掲げる日本にとっても、クリーンエネルギーへの転換は避けて通れない道です。国の方針においても、原子力は安定供給とカーボンニュートラル実現の両立に向け、安全性を最優先にその活用が示されているところです。

貴支部がこれからも、エネルギー政策における課題の解決に向けて活動いただくことは、GXの実現に向けて、たいへん意義のあることと認識しております。皆様の熱い想いが地球環境の維持と安心、豊かさ、快適さの実現に寄与することを心より祈念しまして、お祝いの言葉といたします。



### 銚田市長 岸田 一夫

原子力国民会議茨城支部設立5周年記念事業「第5回原子力フォーラム茨城」の開催誠におめでとうございます。

現在における原子力政策を語るときに、平成23年3月11日に福島第1原子力発電所で起きた大変不幸な事故を避けて通る事はできません。

お亡くなりになった方たちのご冥福と、ご遺族の皆様にご心からのお見舞いを申し上げます。

あの事故以降、原子力のあり方については、混迷を続け「悲惨な事故、原子力は怖い」等々、負のイメージばかりが人々の脳裏に残されていると言っても過言ではないと思います。

しかし、あの事故によって国民の目は「原子力のあり方」そのものに向けられ、今まで関心の薄かった人達の視線を集めることになり、現在の大きな課題である地球環境問題と相まって、それぞれの立場から様々な意見が交錯するようになりました。

このような状況の中、今回、「原子力発祥の地である茨城」に於いて、このようにフォーラムが開催されますことは、大変意義のある事だと考えております。

単に原子力の是非を問うのではなく、原子力とはどういうものか、私たちの生活とどのように関係しているものか、「正しく理解し、正しい判断をする」そのきっかけにしなければなりません。

今回の、「第5回原子力フォーラム茨城」で行われます講演並びに、パネルディスカッションが、その機会になると信じております。

今後の日本のエネルギー問題を考えるとき、原子力というものに対し、国民一人ひとりが、理解し、納得しながら進んで行くことが大切になっていくと考えます。

そのような意味においても、引き続き、飯島一敬代表、田山東湖特別顧問を中心に、一般社団法人原子力国民会議茨城支部の益々のご活躍を心からご期待申し上げる次第です。



## 茨城町長 小林 宣夫

本日、「第5回原子力フォーラム茨城」が盛大に開催されますこと、心よりお喜び申し上げます。また、原子力国民会議茨城支部が設立5周年を迎え、設立の発起人代表でございます田山東湖茨城県議会議員をはじめ、原子力国民会議茨城支部の皆様並びに関係各位のこれまでのご尽力に対し、深く敬意を表する次第でございます。

昨今、世界規模で異常気象が発生し、気候変動問題への対応が迫られ、脱炭素化を社会全体で考えなくてはならない時代を迎えています。一方で、昨年2月には、ロシアによるウクライナ侵攻が発生し、いまなお戦渦が続く中、世界のエネルギー情勢は一変し、我が国においても、原油や穀物価格が高騰し、電気代、食料及び日常生活品の値上げなど、住民の暮らしは大変厳しい状況に直面しております。

こうした状況の中、今後のエネルギー政策に関しては、本年5月に原子力発電所の運転期間の60年超への延長を盛り込んだ「GX脱炭素電源法」が成立し、既存の原発を可能な限り活用しながら、温暖化ガスの排出削減と電力の安定供給の両立を目指していくことが示されました。そうした国の政策に対しては、住民の理解や意見を反映させることが非常に重要であると同時に、そのような機会を設けることの大切さを痛感しているところでございます。

原子力国民会議茨城支部におかれましては、地域住民の生活に深く係わる原子力施設などについて、地域の草の根対話活動を通し住民の理解促進のための活動やその声を国の政策に反映するための活動を積極的に行っておられます。これらのことは、今後のわが国のエネルギーの在り方を選択していく際に、大変意義のある活動であると考えているところであります。

結びに、本日のフォーラムのご成功と貴支部のご発展並びにご列席の皆様方のご健勝とご多幸を心からご祈念申し上げ、ご挨拶といたします。



## 演 題

### GX(グリーントランスフォーメーション)の展望と 原子力の課題等について

## 額賀 福志郎 略歴

昭和 19 年 1 月 茨城県行方郡麻生町生まれ  
早稲田大学卒業、産経新聞社入社

昭和 53 年 12 月 茨城県議会議員に初当選（以後 2 期）  
昭和 58 年 12 月 衆議院議員初当選  
平成 9 年 9 月 内閣官房副長官（第 2 次橋本改造内閣）  
平成 10 年 7 月 国務大臣 防衛庁長官（小淵内閣）  
平成 11 年 10 月 内閣官房副長官（第 2 次小淵改造内閣、森内閣）  
平成 12 年 12 月 経済企画庁長官（第 2 次森改造内閣）  
平成 15 年 9 月 自民党政務調査会会長  
平成 17 年 10 月 防衛庁長官（第 3 次小泉改造内閣）  
平成 19 年 8 月 財務大臣（第 1 次安倍改造内閣、福田内閣）  
平成 25 年 10 月 衆議院国家安全保障に関する特別委員会委員長  
令和 3 年 10 月 衆議院議員当選（連続 13 期）

[現在]

自民党東日本大震災復興加速化本部長  
自民党総合エネルギー戦略調査部会長  
自民党税制調査会顧問





## 演 題

### 今後の政局とエネルギー安全保障について

## 阿比留 瑠比 略歴

1966年生まれ、福岡県出身。

早大政経学部卒業後、1990年産経新聞入社。

仙台総局、文化部、社会部を経て1998年7月より政治部。

第一次安倍内閣、鳩山内閣、菅直人内閣、  
第二次安倍内閣で首相官邸キャップ。

著書に『総理の誕生』（文芸春秋）、『政権交代の悪夢』（新潮新書）、  
『だから安倍晋三政権は強い』（産経新聞出版）など。

近著（6月2日発売）は西岡力氏との対談『安倍晋三の歴史戦』（同）  
がある。

## パネラー紹介 (経歴)

### ○檜山 敏明 原子力国民会議理事、茨城支部副支部長

---

- 1955年 9月 茨城県小川町（現小美玉市）生まれ
- 1980年 3月 東京都立大学大学院工学研究科修士課程修了
- 1980年 4月 動力炉・核燃料開発事業団入社、プルトニウム燃料、再処理技術の研究開発に従事  
博士（工学）（東京工業大学）
- 2015年 4月～2021年 3月  
九州大学アイソトープ統合安全管理センター教授

### ○下路 健次郎 いばらき自民県議会議員（東海村選挙区）

---

- 1972年 茨城県那珂郡東海村に生まれる
- 1990年 茨城県立太田第一高等学校 卒業
- 1995年 国土舘大学政経学部政治学科 卒業
- 1996年 衆）梶山静六事務所入所
- 2010年 茨城県議会議員選挙に那珂郡選挙区で当選
- 2023年 茨城県議会議員 現在 4 期目

### ○飯田 英樹 茨城県町村議会議長会会長、大洗町議会議長

---

- 平成 23年 大洗町議会議員 初当選
- 平成 25年 10月 30日 文教厚生常任委員会 委員長 就任
- 平成 27年 11月 3日 大洗町議会議員就任（第2期）
- 平成 27年 11月 4日 文教厚生常任委員会 委員長 就任
- 令和 元年 11月 8日 総務常任委員会 委員長 就任
- 令和 3年 11月 1日 大洗町議会議長 就任（～現在）
- 令和 4年 6月 1日 茨城県町村議会議長会 会長 就任（～現在）

### ○萩谷 弘通 原子力施設運転保守会社経営者

---

- 1962年 11月 生まれ
- 1984年 3月 茨城大学工業短期大学部 工業化学科卒
- 1984年 4月 原子力施設運転保守会社入社
- 2019年 3月 取締役就任
- 2022年 11月 代表取締役社長就任、現在に至る

### ○大津 乃亜 原子力技術者

---

- 2020年 3月 国立茨城工業高等専門学校 卒業
- 2022年 3月 茨城大学工学部物質科学工学科 卒業
- 2022年 4月 原子力施設における保守・管理会社 入社  
原子力施設において発生する廃水の放射能濃度低減化処理  
及び放射能濃度分析業務に従事

【設立】令和元年(2019年)6月2日

【茨城支部規約】(抜粋)

(事業)

第4条 この支部は、第1条の目的を遂行するために本部定款第4条に定める事業を遂行するとともに、原子力発祥の地として次の事業を行う。

- 1) 茨城県内の原子力研究所や原子力関連事業所の再興を支援するための活動
- 2) 原子力人材の育成・養成に係る茨城県内における支援活動
- 3) 支部活動の賛同者・ボランティアの拡大のための活動
- 4) その他、支部の目的を達成するために必要な事業

<令和元年度>

いまこそ、発祥の地茨城から、原子力の再興を！

## 原子力国民会議 茨城支部設立記念講演会

場所: (株)千代田テクノル コンベンションセンター  
茨城県東茨城郡大洗町大貫町3522

日時: 2019年6月2日(日)  
13:30~15:30

★水戸大洗ICより車で15分  
★大洗駅より車で5分

**スケジュール**

13:00 受付開始

13:30 主催者挨拶(茨城支部代表、国民会議代表理事)  
来賓祝辞 事業計画の概要

14:30 基調講演  
地球、日本、茨城のためのエネルギー戦略(仮題)  
—未来のための原子力—  
講師: 東京大学教授 岡本孝司氏

**講師プロフィール**  
1961年生まれ。東京大学原子力工学専門課程修了後、三菱重工業、助教を経て、2004年東京大学教授。2005年より2012年まで原子力安全委員会審査委員、専門委員。茨城県原子力安全対策委員会委員、専門は、原子力工学、可視化情報学など。

【お問合せ先】  
一般社団法人原子力国民会議茨城支部  
〒311-1301 茨城県東茨城郡大洗町磯浜町1870  
携帯: 090-5326-0273(深谷) 携帯: 090-2737-8989(飯島) FAX: 029-267-2676  
E-mail: nnc-ibaraki@kokumin.org

主催: 原子力国民会議、原子力国民会議茨城支部  
協賛: 大洗町商工会、検査開発㈱、原子力エンジニアリング㈱、㈱田口工務店、㈱タヤマ、㈱千代田テクノル、㈱TEC、㈱YASUCORPORATION



設立記念講演会(令和元年6月2日)

## 原子力フォーラム茨城

地球・日本・茨城の将来と原子力を考えよう！

日時: 2020年1月18日(土) 13:00~16:30  
場所: (株)千代田テクノル コンベンションセンター  
茨城県東茨城郡大洗町大貫町3522  
★水戸大洗ICより車で15分、大洗駅より車で5分

**スケジュール**

13:00 受付開始

13:30 主催者挨拶

13:40 第1部 基調講演  
「原発ゼロ」は可能か？  
講師: 東京工業大学特任教授・北海道大学名誉教授 奈良林直氏

15:20 第2部 講演  
高レベル放射性廃棄物の地層処分について  
講師: 原子力発電環境整備機構技術部課長 加来謙一氏

16:10 総括討論会  
16:30 閉会

**奈良林教授プロフィール**  
東京工業大学大学院修了後、東芝に入社。同社主幹の後、北海道大学教授・部門長・学科長を経て現職。日本原子力学会理事、日本保全学会会長、原子力安全委員会専門委員、原子力規制委員会「福島事故の分析検討チーム」等を歴任。国家基本問題研究所理事。ISOE(QAEA, OECD/NEA)より2018年傑出教授賞受賞。

**加来課長プロフィール**  
九州大学大学院修了後、熊谷組に入社。同社で研究開発や建設工事に従事。原子力環境整備センター出向を経て、スイスの実施主体Nagra社に転職。2009年から原子力発電環境整備機構で技術開発や理解活動の業務に従事。

主催: 原子力国民会議茨城支部  
協賛: 大洗町商工会、㈱千代田テクノル、検査開発㈱、原子力エンジニアリング㈱、㈱田口工務店、㈱タヤマ、㈱TEC、㈱YASUCORPORATION、環境保全事業㈱




「原子力フォーラム茨城」(令和2年1月)





茨城支部設立記念講演会(千代田テクノルコンベンションセンター)

～身近な話題について  
考えてみませんか～

大洗地区  
**第1回 サイエンスカフェ茨城**

**9/26**  
(木) **14:00～16:00**

場 所：大洗わくわく科学館  
持ち物：マイカップ  
参加費：無料 定員：20名

**第1部 講演 【地球温暖化「いま」と「これから」】**  
茨城県の気象変化・茨城県の21世紀の気候  
講師 水戸地方気象台調査官 中村 敏夫 氏  
～質疑応答・休憩～

**第2部 卓話 【パナマ・ゲイシャコーヒーの話  
世界最高級のコーヒーを飲みましょ】**  
講師 サザコーヒー会長 鈴木 崇志 氏  
日本コーヒー文化学会副会長

主催：サイエンスカフェ茨城実行委員会  
問合せ 090-5326-0273 (深谷)  
090-2737-8989 (飯島)

・当イベントは原子力発電関連設備機器が実施する「地層処分事業の理解に向けた自主企画支援事業」を活用しております。  
・講演・卓話は全4回シリーズです。裏面をご覧ください。



サイエンスカフェ茨城(令和元年9月～、8回、大洗わくわく科学館／ひたちなか商工会議所)



幌延深地層研究センター見学会(北海道)



地層処分基盤研究施設(東海村)

※原子力文化財団の支援事業





一般社団法人 茨城支部  
**原子力国民会議**



原子力国民会議 茨城支部  
いまこそ、発祥の地 茨城から原子力の再興を！

茨城支部ホームページ (<https://ibaraki-kokumin.org>) の開設

※原子力文化財団の支援事業

## <令和2年度>

**第2回 原子力フォーラム茨城**  
国会議員と地域代表者との意見交換会  
—原子力の再興を目指し、地球環境を守り、活力ある茨城の実現を—

日時: 2020年12月5日(土) 13:00~16:30  
場所: 大洗文化センター  
茨城県東茨城郡大洗町磯浜町6881-275  
★水戸大洗ICより車10分、大洗駅より車5分、徒歩15分



13:00 受付開始  
13:30 主催者挨拶  
13:35 来賓紹介  
13:40 来賓挨拶

14:10 第1部 地域からの提案

- 産官学連携による人材育成と地域振興 茨城支部代表 田山東湖
- 地域振興を目指した東海地区の将来ビジョン 武部悠一 東海村議会議員
- 地域振興を目指した大洗地区の将来ビジョン 飯田英樹 大洗町議会議員

15:00 第2部 活動報告と対話討論

- 国会議員からの活動報告 コロナ対策 裏面参照
- 新賀福志郎衆議院議員、石川昭政衆議院議員
- 岡田広参議院議員、上月良祐参議院議員
- 対話討論 駐車場のご案内
- 登壇者: 国会議員、地域代表者(提案者を含む)
- 司会: 田山東湖茨城支部代表
- 会場からの意見および 総括

16:30 閉会 (相乗りでお願ください)

主催: 原子力国民会議茨城支部  
協賛: 大洗町商工会、愛功建設㈱、㈱アックス、㈱E&E、㈱大真工務店、  
株木建設㈱、検査開発㈱、原子力エンジニアリング㈱、㈱NESI、㈱大塚建設、  
大昭工業㈱、泰明電設㈱、㈱田口建設工業、㈱田口工務店、㈱タヤマ、  
㈱千代田テクノ、㈱戸塚建設、㈱内藤工務店、㈱YASUJICORPORATION

第2回「原子力フォーラム茨城」



ご来賓



対話討論会の様子

## <令和3年度>

原子力国民会議 茨城支部設立 3周年記念事業

### 第3回「原子力フォーラム茨城」

－脱炭素社会を目指し、原子力発祥の地茨城から原子力の再興を－

令和4年 **2月19日** 土

■ 受付: 12時15分  
■ 講演: 13時15分  
■ 終了: 15時(予定)

入場無料  
定員 400名

(場所) トヨベツスマイルホール大洗  
(大洗文化センター)

プログラム

主催者挨拶

講演

特別講演



「カーボンニュートラルと  
原子力規制の課題」

衆議院議員  
自由民主党経済産業部会 部  
会長 **石川 昭政氏**



「今日の国際情勢と日本のエネルギー安全保障」

ジャーナリスト  
公益財団法人 国家基本問題研究所  
理事長 **櫻井 よしこ氏**

閉会挨拶

主催: 一般社団法人 原子力国民会議茨城支部  
協賛: 株)アセンド、株)アトックス、株)E&Eテクノサービス、検査開発(株)  
原子力エンジニアリング(株)、株)千代田テクノル、千代田メンテナンス(株)、(株)NESI



第3回「原子力フォーラム茨城」(ご来賓/櫻井講師/会場風景)



新照射試験炉誘致討論会(第1回、大洗わくわく科学館)

<令和4年度>

原子力国民会議 茨城支部  
**第4回「原子力フォーラム茨城」**  
 —流動する国際情勢とエネルギー安全保障について考える—  
 令和4年 **6月18日土** ■受付:12時10分 ■開会:13時10分 ■講演:13時35分 ■終了:15時10分(予定)  
 (場所)トヨペットスマイルホール大洗大ホール ■入場無料 定員400名  
当日参加費は別途要です

プログラム

主催者挨拶

特別講演

講演

「ロシアのウクライナ侵攻によるエネルギーの混乱と日本の電力危機」  
 ・衆議院議員  
 ・自由民主党経済産業部会  
 部会長 石川 昭政氏

「国際情勢とエネルギー安全保障」  
 ・キャンタローバル戦略研究所  
 研究主幹 宮家 邦彦氏

閉会挨拶

主催:一般社団法人 原子力国民会議茨城支部  
 後援:大洗町商工会

第4回「原子力フォーラム茨城」



草の根勉強会(高校生)



講演風景



茨城支部常任幹事会の開催

【支部役員】※令和5年4月30日現在

代 表:田山東湖(茨城県議会議員)

副 代 表:飯島一敬(原子力国民会議理事)

相 談 役:檜山敏明(元九州大学教授)

事務局長:深谷恒美

同上代理:中村保雄

【会員】正会員:267名 法人会員:8社 ※令和5年4月30日現在

\*これらの詳細は、裏面記載の茨城支部ホームページでご覧いただけます。



## 人と地球にやさしい未来へ



### 事業内容

- ▶ 原子力施設及び関連施設等の運転・保守・管理業務
- ▶ 原子力関連及び環境関連機器等の開発・製作・据付・除染・解体
- ▶ 放射線測定機器の開発・販売・リース
- ▶ 労働者派遣事業
- ▶ 特定建設業(とび・土工工事、解体工事)/一般建設業(電気工事、機械器具設置工事)



株式会社E & Eテクノサービス

URL : <https://www.e-ets.co.jp/>

〒312-0003 茨城県ひたちなか市足崎西原1476-19

TEL. 029-212-8880 FAX. 029-212-8881



創業以来培ってきた核燃料物質の取扱いに関する高度な技術と経験を、核燃料サイクルの確立によるエネルギーの安定供給と福島原発事故後の環境復旧支援、構造物の健全性調査・診断等を通じて社会に貢献していきます。



### 核燃料サイクル支援事業

- 【各施設の運転・保守】
- 【放射性物質の各種分析】
- 【放射線測定・管理】
- 【原子力燃料等の研究開発支援】

### 環境放射能測定事業

### 構造物調査診断事業

### 工事・メンテナンス事業



検査開発株式会社

Inspection Development Company Ltd.

〒319-1112 茨城県那珂郡東海村村松字平原 3129-37

TEL.029-282-1611 FAX.029-282-2555

<http://www.kensakaihatsu.co.jp>

事業所：東海・大洗・青森・福島・東京・岡山





原子力機器の設計製作・運転保守

# 原子力エンジニアリング株式会社

## *Nuclear Engineering Co.,Ltd.*

<http://www.neco-net.co.jp/>

千代田テクノルは  
**放射線**

を から  
**測る 守る**

で  
**治す**



放射線は危険な性質を持っている反面、有効に利用すれば人類に大きなメリットを与えてくれる無限の可能性をそなえています。

千代田テクノルは、医療・原子力・産業・放射線測定などの各分野において、放射線を安全に有効利用するための機器やサービスをトータルに提供。

放射線の「利用」と「防護」の双方において、お客様のあらゆるニーズにきめ細かく対応しています。

株式会社 **千代田テクノル**

U R L : <https://www.c-technol.co.jp>

e-mail: [ctc-master@c-technol.co.jp](mailto:ctc-master@c-technol.co.jp)



## 原子力に貢献する技術サービス



CMC 千代田メンテナンス株式会社

本社 〒311-1493 茨城県鉾田市箕輪1632番地1  
電話 0291-37-3131 FAX 0291-37-3341  
URL <http://www.cmaint.co.jp>

採用情報  
ホームページ



ジョブドラフト  
Navi 登録中



# 愛功建設株式会社

代表取締役 栗田定之

〒311-1313 茨城県東茨城郡大洗町成田町190番地  
TEL(029)264-8833  
FAX(029)264-8834  
E-mail:[aikou-kensetsu@beige.plala.or.jp](mailto:aikou-kensetsu@beige.plala.or.jp)

原子力を支えて50年、確かな技術を提供します。

# Ascend 株式会社アセンド

代表取締役社長 石川 昌幸

- |         |   |                  |
|---------|---|------------------|
| 〔本社〕    | 茨城県那珂郡東海村村松 3115-6<br><a href="http://www.ascend.co.jp">http://www.ascend.co.jp</a> | TEL 029-282-1145 |
| 〔東海事業所〕 | 茨城県那珂郡東海村村松 4-33  | TEL 029-282-9145 |
| 〔大洗事業所〕 | 茨城県東茨城郡大洗町成田町 4002  | TEL 029-266-1487 |
| 〔青森事業所〕 | 青森県上北郡六ヶ所村大字尾駈字野附 1-69  | TEL 0175-73-8607 |
| 〔福島事務所〕 | 福島県双葉郡楡葉町大字井出字浄光東 27-126  | TEL 0240-23-7775 |

## 国内外の叡智をたずさえ、 原子力産業再生の最前線へ。

社会と産業を支えるクリーンエネルギー原子力。  
アトックスは、その安全と安定した運転に欠かせないさまざまな  
メンテナンス事業を展開しています。  
原子力発電所、原子燃料サイクル施設、ラジオアイソトープ (RI) 事業所などを対象に  
放射線物質汚染除去、廃棄物処理、放射線管理施設の保守・補修業務をはじめ  
質の高いトータルメンテナンスを提供しています。  
アトックスはこれからも、人と地球を見つめ、  
安全・清潔・便利さを追求し続けます。



人×技術でNext Stageへ



株式会社アトックス

### 業務内容

- 福島復興事業
    - 放射線管理 ●環境修復 ●除染作業 ●滞留水処理
    - 下水処理 ●廃棄物処理
  - 原子力発電関連施設・原子燃料サイクル施設のトータルメンテナンス
    - 放射線管理 ●除染作業 ●廃棄物処理 ●ランドリー
    - 清掃 ●区域管理 ●設備/装置運転・点検保守 ●輸送
    - 分析 ●各種工事
  - RI使用施設関連業務及び医療事業関連業務
    - 放射線管理 ●除染作業 ●廃棄物処理補助 ●清掃
    - 管理区域内清掃 ●施設/設備運転・点検保守 ●加速器運転
    - フィルター交換 ●デコンタミネング ●設備工事
    - 放射性薬剤取扱業務 ●同位体販売
- 本 社 : 〒108-0014 東京都港区芝西丁目11番3号  
TEL (03)6758-9000 FAX (03)3453-3821
- 茨城地区: 【東海事業所】  
〒319-1112 茨城県那珂郡東海村村松161-2  
TEL (029)282-1662 FAX (029)355-2024
- 【大洗事業所】  
〒311-1313 茨城県東茨城郡大洗町成田町大字大塚 3892-7  
TEL (029)266-1331 FAX (029)267-6971
- 【原電事業所】  
〒319-1106 茨城県那珂郡東海村大字白方 1-1  
TEL (029)282-0340 FAX (029)282-0065

URL: <http://www.atox.co.jp/>

放射線物質輸送の  
プロフェッショナルとして  
一貫したサービスを  
実現

**エイ・ティ・エス株式会社**  
ATOM TRANSPORT SERVICE CO., LTD.

本社: 茨城県那珂郡東海村村松平原3129-37 TEL: 029-219-8780  
敦賀: 福井県敦賀市長沢54号1-7 TEL: 0770-47-6901

# 株式会社 大曾根建設

取締役会長 大曾根 文彦

代表取締役 大曾根 理一郎

〒312-0003 茨城県ひたちなか市足崎1474番地の46

TEL:029-275-1888 FAX:029-275-5660



技術と誠意で地域に貢献する

## 株式会社 大貫工務店

ISO 9001  
14001

代表取締役社長 大貫 茂男

〒310-0842 茨城県水戸市けやき台3-62-1 TEL:029-239-3883 FAX:029-239-3881

URL:<http://www.oonuki.co.jp>

### 「未来に足りないものは、ありませんか？」

私たちは、いつも問いかけています。

今を未来へつなげるために、  
人と地球の生命力を高めるために。

私たちは創業以来、常に時代を見つめ、人の暮らしにやさしい環境づくりを目指してきました。創業100年を超えた今も変わることないその理念を、さらにその先へと受け継いでいきます。  
次の時代に必要な、“生きるちから”をつくるために。

生きるちからをつくる会社  
**KABUKI**  
Since.1921



## 株木建設株式会社

本店:〒310-0845 茨城県水戸市吉沢町311番地1 tel.029-248-0688  
本社:〒171-8560 東京都豊島区高田3丁目31番5号 tel.03-3984-4111





防災関連の業務を最高の品質でお届けします。

Since1991...セキュリティとともに30年



- 原子力関連施設の警備
- 監視カメラ設置、入退室管理
- 消防設備全般の工事/点検/修理
- ドローンによる警備/調査/点検



株式会社原子力セキュリティサービス

代表取締役社長 川上和夫

本社 〒319-1112 茨城県那珂郡東海村松字平原 3129-45

TEL : 029-283-2111 FAX : 029-283-2115 URL : <http://www.ness.co.jp>



ホームページ

地域に根ざした建設業界で輝く！！



特定建設業  
株式会社

**大輝建設**

取締役会長 渡邊敏男

代表取締役 渡邊東子

〒311-1504 茨城県銚田市安房1365-2

TEL 0291-33-3775

FAX 0291-32-2401

総合建設業



**大昭工業株式会社**

代表取締役 木村 晃

〒311-3116 東茨城郡茨城町長岡370

TEL: 029(292)-1504

FAX: 029(292)-8347



# 泰明電設株式会社

代表取締役 海老澤 健

水戸市酒門町5039-2

TEL:029-226-4343

FAX:029-226-4346



# 株式会社 田口工務店

代表取締役

## 田口 誠壽

〒311-1301 茨城県東茨城郡大洗町磯浜町827-3

Tel 029-267-5241

Fax 029-267-6769

Mail oarai-kk.taguchi@an.wakwak.com

URL <https://oarai-taguchi.co.jp>



ISO9001認証取得

### 技術力で未来を拓くサポート集団



# 東興機械工業株式会社

代表取締役 相澤 祐一

〒319-1112 茨城県那珂郡東海村大字村松 263 番地の 6 電話 (029) 282-1434 FAX (029) 282-0019

## 原子力施設の総合警備

原子力施設の警備を担う会社として  
安全・安心な社会の発展に寄与する



# 株式会社 ナスカ

- |  |  |
|--|--|
| ■本社<br>茨城県那珂郡東海村村松3115-6<br>TEL: 029-282-3150<br>FAX: 029-282-4087 | □東海事務所<br>茨城県那珂郡東海村村松4-33<br>□大洗事務所<br>茨城県東茨城郡大洗町成田町4002<br>□敦賀支店<br>福井県敦賀市白木1-301 |
|--|--|

## 株式会社 NESI

私たちが提供するものそれは、“次世代の情報サービス”

### <事業内容>

- ▶ 数値解析(構造解析、流動解析 等)
- ▶ システム開発(核物質管理、廃棄物管理 等)
- ▶ ITインフラ(ネットワーク構築・運用 等)
- ▶ ドローン/IoT(放射線測定ドローン開発 等)
- ▶ 自社プロダクト(災害情報共有システム迅速果断、音声AIアシスタント 等)



茨城県ひたちなか市東石川3600-3  
代表電話番号  
TEL:029-219-7733 FAX:029-219-7734  
<http://www.nesi.co.jp>

## 未来のために、今できること。

私たちは、エネルギー及び科学技術に  
関する幅広いサービスをご提供いたします。

## 株式会社ペスコ

- |  |   |
|--|---|
| ■本社<br>〒105-0021 東京都港区東新橋2-5-12<br>第一粕谷ビル7F<br>TEL:03-3435-9588 FAX:03-3435-9586 | ■茨城事務所<br>〒312-0034 茨城県ひたちなか市堀口832-2<br>HSP 勝田1F<br>TEL:029-219-5552 FAX:029-219-5603 |
|--|---|

<https://www.pesco.co.jp>



# — 国民会議の会員申込について —

## 【ご入会の方法】

- ①茨城支部ホームページのトップページの『茨城支部について』から「入会申込書」を入手し、必要事項をご記入のうえ、郵送、EメールまたはFAXで下記の事務所宛にお申込みください。本部の管理台帳に会員登録されます。
- ②ご不明な場合は事務所に電話、EメールまたはFAXでお問い合わせください。

## 【会員の特典】

季刊誌の寄贈、各種イベントご案内、メルマガなどの情報の提供

## 【会員入会金・年会費】(入会年度の年会費は不要です)

- ・正会員(個人) 1口 3千円以上
- ・賛助会員(法人) 1口 5万円以上

会員の皆様方の貴重な会費で当会の活動が支えられております。会費の納入にご協力をお願い申し上げます。

## 【振込先】

- (1)みずほ銀行 根津支店 普通預金 口座番号1167222  
口座名義:一般社団法人原子力国民会議 シヤ)ゲンシリヨクコクミンカイギ
  - (2)ゆうちょ銀行【記号】10160 【番号】72408681  
口座名義:一般社団法人原子力国民会議 シヤ)ゲンシリヨクコクミンカイギ
- ※他金融機関からゆうちょ口座へお振込みの際は、次の内容をご指定下さい。
- 【店名】0一八(ゼロイチハチ)【店番】018 普通預金 口座番号7240868

## 【お問合せ先】

原子力国民会議茨城支部事務所  
〒311-1301 茨城県東茨城郡大洗町磯浜町1870  
電 話:029-267-0118 FAX:029-212-7217  
Eメール : nnc-ibaraki@kokumin.org  
茨城支部ホームページ <https://ibaraki-kokumin.org>